

令和元年度 (2019 年度)

事業報告書

社会福祉法人 大津町社会福祉協議会

全体総括

1. 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

- 地域福祉関係
- 老人福祉関係
- ひとり親（母子・父子等）家庭福祉関係
- 心身障がい(児)者福祉関係
- 福祉啓発関係
- 法外援護救済関係
- 表彰関係
- 地域福祉権利擁護事業関係(県社協委託事業)
- 生活困窮者等自立相談支援事業関係(県社協委託事業)
- 福祉金庫の設置・運営

2. 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

- ボランティア推進関係
- 青少年福祉関係
- 善意銀行の設置・運営

3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、 連絡、調整及び助成

- 調査広報関係
- 各種福祉団体への助成

平成 28 年熊本地震関係

- 大津町地域支え合いセンター事業状況

4. 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図 るために必要な事業

- 役員会等
- 実習受入関係
- 職員研修・会議等（年間活動 報告表）
- 職場内研修関係
- その他
- 各種団体事業への協力
- 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）
- 各種募金活動への協力（日赤、共募）

在 宅 福 祉 事 業 状 況 関 係

- 介護用品等の無料貸出

受 託 事 業 関 係

- 老人福祉センター利用状況集計表
- 食の自立支援事業状況
- 高齢者ホームサポート事業状況
- 生きがい活動通所支援事業状況
- 介護予防はつらつ元気づくり事業状況
- 介護予防型ミニデイふれあい事業状況
- 心配ごと相談事業状況

介護保険事業等状況関係

- 居宅介護支援事業等状況
- 訪問介護事業等状況
- 通所介護事業状況

障がい者居宅介護事業状況関係

- 居宅介護事業等状況

社会福祉協議会職員行動原則

－私たちがめざす職員像－

【尊厳の尊重と自立支援】

1. 私たちは、人々の尊厳と自己決定を尊重し、その人が抱える福祉問題を解決し、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう最善を尽くします。

【福祉コミュニティづくり】

2. 私たちは、住民が身近な地域における福祉について関心をもち、福祉活動に参加する住民主体による福祉コミュニティづくりをめざします。

【住民参加と連携・協働】

3. 私たちは、住民参加と地域の連携・協働により業務を行なうことを心がけ、地域に根ざした先駆的な取り組みを応援し、地域福祉を推進する実践や活動を広げます。

【地域福祉の基盤づくり】

4. 私たちは、福祉課題を地域全体の問題として捉え、新たな事業や活動の開発、提言活動や計画づくりの取り組みに積極的に関わり、地域福祉の基盤づくりの役割を担います。

【自己研鑽、チームワーク、チャレンジ精神】

5. 私たちは、自己研鑽を重ね、職員同士のチームワークと部署間の連携をすすめ、チャレンジ精神をもって業務を遂行します。

【法令遵守、説明責任】

6. 私たちは、法令を遵守し、自らの組織や業務に関する説明責任を果たし、信頼され開かれた社協づくりをすすめます。

社協・生活支援活動強化方針

～地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた社協活動の方向性～

【あらゆる生活課題への対応】

1. 地域住民、関係団体、関係機関と協働し、生活課題解決や予防に向けての取り組みを行います。

【相談・支援体制の強化】

2. 総合相談・生活支援への取り組みを一層強化します。

【アウトリーチ(地域へ出向く)の徹底】

3. 制度の狭間や支援につながりにくい生活課題を発見する。

【地域のつながりの再構築】

4. 地域住民、関係団体、関係機関と協働し、だれも排除しない地域社会づくりを進めます。

【行政とのパートナーシップ】

5. 行政と協働で行うことが必要である、地域における、総合的な相談・生活支援体制の構築や権利擁護支援体制整備などを働きかける。

人が大好き！ 社協が大好き！ 大津町が大好き！

(社会福祉協議会の根拠法)

社会福祉法 第1章「総則」
(地域福祉の推進)

第4条 地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者（以下「地域住民等」という。）は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されるように、**地域福祉の推進**に努めなければならない。

2 地域住民等は、**地域福祉の推進**に当たっては、福祉サービスを必要とする地域住民及びその世帯が抱える福祉、介護、介護予防（要介護状態若しくは要支援状態となることの予防又は要介護状態若しくは要支援状態の軽減若しくは悪化の防止をいう。）保健医療、住まい、就労及び教育に関する課題、福祉サービスを必要とする地域住民の地域社会からの孤立その他のサービスを必要とする地域住民が日常生活を営み、あらゆる分野の活動に参加する機会が確保される上での各般の課題（以下「**地域生活課題**」という。）を把握し、地域生活課題の解決に資する支援を行う関係機関（以下「**支援関係機関**」という。）との連携等によりその解決を図るよう特に留意するものとする。

(包括的な支援体制の整備)

第106条の3 市町村は、次に掲げる事業の実施その他の各般の措置を通じ、地域住民等及び支援関係機関による、**地域福祉の推進**のための相互の協力が円滑に行われ、**地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制を整備**するよう努めるものとする。

一 地域福祉に関する活動への地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援、地域住民等が相互に交流を図ることのできる**拠点の整備**、地域住民等に対する研修の実施その他の地域住民等が地域福祉を推進するために必要な**環境の整備**に関する事業

二 地域住民等が自ら他の地域住民等が抱える地域生活課題に関する相談に応じ、必要な情報の提供助言を行い、必要に応じて、支援関係機関に対し、協力を求めることができる**体制の整備**に関する事業

三 生活困窮者自立支援法第二条第二項に規定する生活困窮者自立支援事業を行う者その他の支援関係機関が、地域生活課題を解決するために、相互の有機的な連携の下、その解決に資する支援を一体的かつ計画的に行う体制の整備に関する事業

2 厚生労働大臣は、前項各号に掲げる事業に関して、その適切かつ有効な実施を図るため必要な指針を公表するものとする。

社会福祉法 第10章「地域福祉の推進」 第1節「地域福祉計画」
(市町村**地域福祉計画**)

第107条 市町村は、地域福祉の推進に関する事項として**次に掲げる事項を一体的に定める計画**（以下「市町村地域福祉計画」という。）を**策定するよう努めるものとする。**

一 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項

二 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項

三 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項

四 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

五 前条第一項各号に掲げる事業を実施する場合には、同項各号に掲げる事業に関する事項

2 市町村は、市町村**地域福祉計画**を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、**地域住民等の意見を反映させるよう努めるとともに、その内容を公表するよう努めるものとする。**

3 市町村は、定期的に、その策定した市町村市域福祉計画について、**調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要であると認めるときは、当該市町村地域福祉計画を変更するものとする。**

社会福祉法 第10章「地域福祉の推進」 第2節「社会福祉協議会」
(市町村**社会福祉協議会**及び地区社会福祉協議会)

第109条 市町村**社会福祉協議会**は、1又は同一都道府県内の2以上の市町村の区域内において**次に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体**であって、その区域内における社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、かつ、指定都市にあつてはその区域内における地区社会福祉協議会の過半数及び社会福祉事業又は更生保護事業を営む者の過半数が、指定都市以外の市及び町村にあつてはその区域内における社会福祉事業又は更生保護事業を営む者の過半数が参加するものとする。

1 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

2 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

3 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成

4 前第3号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

改正社会福祉法：平成30年4月施行（令和3年4月1日改正予定）

令和元年度（2019年度） 事業報告

全体総括

社会福祉協議会（社協）は、長年、住民の参加する福祉活動を推進し、福祉上の諸問題を地域住民の協働的努力によって解決する公共性・公益性の高い民間非営利団体として、一貫して地域福祉活動の中心的な役割を果たしてきました。社会福祉法の中に、「市町村社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図る団体」と位置づけられており、市町村行政での策定が努力義務とされている「地域福祉計画」では、計画策定への参画から計画実施まで社協の果たす役割はますます重要になってきています。今後の社協の活動は、今まで以上に、地域住民の福祉ニーズに対して社協がどれだけ応えることができるかが、社協の存在価値と併せて問われています。

また、公共性の高い非営利的な地域福祉事業と、本会が受託運営する公共的な在宅福祉サービス（介護予防生活支援事業等）を介護保険事業といかに融合させれば、利用者のきめ細かなニーズに適切に対応できるかということを念頭におき、民間の介護保険サービス提供事業者と共に切磋琢磨し、地域福祉を推進していくことが重要な課題となってきています。

このことを踏まえて、“心ふれあい ともに歩む 地域づくり”を推進するために、助け合い、支えあいを基本とする地域住民の福祉活動の組織化と在宅福祉サービス（介護保険サービス含む）を有機的に連携させ、より厚みのある福祉サービスを展開していくことを基本方針において事業を展開してきました。

令和元年度は、事務局長が定年を迎える為に正規職員を1名前倒しで採用し、事務局体制の強化を図り、通所介護事業者の生活相談員が定年退職を迎えたので、補充の為に正規職員を1名採用しました。平成28年4月に発生した熊本地震への対応を継続するとともに、通常の業務も並行して行いました。熊本地震被災者の在宅への復興支援として、困りごとに対しては、通常本会が行うボランティアセンター活動の中で対応しました。また、国庫補助で町より委託を受け開設した、大津町地域支え合いセンターは、仮設住宅、みなし仮設住宅及び在宅の被災者等に対して現在も支援活動を続けています。

一方、これまでの地域福祉事業も継続して実施し、平成20年度から取り組んでいる第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画「わがまち大好き！大²作戦（おおづだいさくせん）」は、第1期の社会福祉協議会発展強化計画と共に、事業展開を図るとともに、第3期へ向けての計画策定を行いました。また、並行して町と協働で取り組んでいる地域福祉推進事業（町受託事業：地域力強化事業）の具体的な取り組みとしては、杉下区を新たに指定し、災害時避難行動訓練として、「こども避難訓練」を実施しました。その他の活動は、小地域福祉活動実践地区14地区と小地域福祉活動推進地区2地区での座談会や活動の支援を行いました。また、町関係各課との事務局会議や43行政区より選出された地域福祉推進委員67名の研修を実施しました。低所得者支援対策の一環として、県社協より受託した生活困窮者等自立相談支援事業は、主任相談支援員1名と相談窓口担当者2名（熊本地震対策で1名増員）を配置し81人の相談に対応し、1,187件の相談を受け、生活課題の解決に向けての支援や家計の収支などに関わる相談に寄り添いながら対応し、本町における生活困窮者対策（失業や低所得世帯）の一助となりました。

介護保険事業においては、「居宅介護支援事業」（ケアプラン作成管理）では、利用者へよりきめ細かな支援ができるように改善するとともに、在宅生活継続支援を念頭においたケアプラン作成に努めましたが、介護支援専門員の交代もあり収支差額はマイナスの計上となりました。「訪問介護事業」も従事者不足により、前年度より少ない収入となりましたが、「通所介護事業」の収支に支えられ、他の不安定な事業への収入補てんを行うことが可能となりました。しかし、今年度は、利用者の低迷や新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で収支差額は初めてのマイナス計上となりました。介護職員の処遇改善としては、職員研修会の開催による資質向上を行うとともに、介護職員処遇改善手当の月額支給を行い処遇の改善に取り組みしました。

一方、介護認定に漏れた方や外出する機会の少ない虚弱な高齢者の方々に対しては、様々な介

護予防・生活支援事業を町より委託を受け実施し、要介護状態に陥らない自立した生活が営めるよう支援しました。「介護予防はつらつ元気づくり事業」では、クラブ活動（書道、音楽、創作）や買い物支援を実施し特色のあるプログラムづくりを行い、介護予防や生きがいづくりや趣味活動の促進を行いました。月1回、地域の集会所等23地区で行う「介護予防型ミニデイふれあい事業」では、趣味活動の促進、寝たきり予防や認知症予防の啓発に努めるとともに、介護予防事業に取り組み、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上や脳トレに力を入れ、「介護予防はつらつ元気づくり事業」とあわせて、健康推進担当課や地域包括支援センターと協働で体力測定や筋力測定を実施しました。年度終盤では、新型コロナウイルス感染症予防対策として事業が中止となり、在宅への支援を継続して行いました。

また、「高齢者ホームサポート事業」では、在宅生活の維持管理を行い日常生活の援助に努めました。障害児・者への居宅介護事業（ホームヘルプサービス）は、年ごとに利用者及び身体介護の割合が増えてきており、より専門的な研修の必要性を感じ、多くの研修に職員を派遣しましたが、従事者不足の影響で研修会参加者の人員不足で開催中止も多くありました。施設管理面では、平成28年度から5年間、老人福祉センター指定管理を受託しており、今年度が最終年度にあたるため、今後も引き続き効率的な管理運営を行っていきけるよう努力して行きたいと考えていますが、近年では、老朽化による修理費の増大や事業規模の拡大とともに、施設のスペース不足の課題が生じてきています。ボランティア活動推進関係では、設立8年目を迎える、大津町ボランティア連絡協議会との連携を深めてきましたが、今年度末で活動休止となりました。今後はボランティアセンターが核となり町内の様々な関係機関の担当者との連携を図りながらボランティア活動の啓発推進を行いながら町内ボランティア活動の推進強化を図ります。ボランティア養成講座では、傾聴ボランティア養成講座を実施し、福祉サービス利用の高齢者等への支援のためのボランティアの養成を行いました。一人暮らし高齢者等の希望者を対象に実施している「季節のお便りサービス」は、ボランティア協力校児童生徒の意識啓発と、生きがいづくりや安否確認・ニーズ把握に役立たせることができました。今後も地域住民が進んで参加できる、様々なボランティアサービスの開発に取り組んでいきたいと考えています。ボランティア活動は、一般的には見えにくい状況ですが、ボランティア活動保険【ボランティア活動保険加入者数 624人、ボランティア行事用保険 85件・参加者数 3,538人】の加入者数で把握を行っています。今後もボランティア活動の現状把握のために加入促進を図って行きたいと考えています。福祉教育の推進に関しては、大津支援学校を含めた、町内すべての小学校、中学校、高校の11校（翔陽高校は独自の取り組み）を「ボランティア協力校」に指定し、福祉教育の推進を図りました。また、福祉関係者の情報発信イベントとして10月の第3日曜日に開催している福祉まつりについては、4,500人の来場者に恵まれ盛大に開催されました。

おわりに、昭和27年4月から半世紀以上にわたり地域福祉の推進に取り組んできた本会としては、「地域の福祉力」を形成する主体は住民自身であるという原点に立ち返り、住民の地域福祉への関心を高め、その自主的な取り組みを基礎とした住民主体の地域での福祉活動（地域福祉）を推進することに重点をおいた活動へとさらに事業を転換させて行きます。

これからも、地域の福祉課題や生活課題を住民とともに協議し、課題解決に取り組む過程において多くの住民を巻き込み、「他人事ではなく自分の問題だ」と気づいていただく場づくりを行い、「福祉は行政や社協、民間事業者にまかせておけば良い」という意識を変革していかなければなりません。そして、隣近所で、あるいはその地域で出来る、小地域での福祉活動を組織化するのが社協の使命であり、今後の活動の中心にすべき活動であると考えます。「住んで良かった。」と思われる、やさしい建物や人々のあふれる本当の意味でのやさしいまちづくりの実現のために、大津町社会福祉協議会の役職員及び関係者が総力をあげて、社会福祉協議会の事業を広く住民へ周知し、多くの住民が福祉事業に関わるができるよう、事業の見直し・再検討を図りながら、更に充実した事業展開を図るための地域福祉推進体制の確立を行うことが必要です。

1. 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

● 地域福祉関係

地域福祉推進事業（第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進）	【別紙 1】
小地域福祉活動実践地区	14 地区【16 行政区】（±1） 【森、多々良、楽善、大津東、南杉水地区、引水、曙、中陣内区、日吉が丘区、北出口、中央、真木、錦野、中学通り区】
小地域福祉活動推進地区【中島区、杉下区】	2 地区【2 行政区】（±0）
地域福祉推進委員の委嘱	43 行政区：67 名(-3)
地域福祉推進活動関係	合計 17 回(+4)
地域福祉推進のための団体説明会Ⅰ【区長】（5/9）	1 回
地域福祉推進のための団体説明会Ⅱ【区長、民生児童委員、推進委員】（9/27）	1 回
地域福祉推進のための地区住民説明会	8 回 （片俣区サロン等 4/19、今村区ミニデイ等 8/20、杉下区推進地区 5/18、6/30、岩坂区推進地区 7/13、 米山区ミニデイ等 8/21、錦野区通いの場等 10/27、新小屋区ミニデイ等 2/16）
地域福祉推進委員研修会の開催（5/9、2/22）	2 回
地域福祉推進職員等研修（10/28～29、11/19、1/16、1/30）	5 回
小地域福祉活動実践地区・推進地区「座談会」の開催	合計 14 回(-7)
楽善区（4/23、6/25、12/21）	3 回
中陣内区（6/22、9/21、11/30、2/15）	4 回
中島区（6/22、12/22）	2 回
杉下区（7/27、9/7、10/5、11/16、2/1）	5 回
小地域福祉活動実践地区・推進地区への支援	合計 14 回(-9)
多々良区（夏祭り 8/13、向日葵 BBQ 10/6）	2 回
楽善区（ふれあいコンテナ回収 8/24、12/21）	2 回
大津東区（夏祭り 8/3、どんどや 1/5）	2 回
南杉水地区（源場・つつじ台・桜丘区）（南杉水人権ふれあいフェスティバル 8/3）	1 回
あけぼの区（夏祭り 8/3）	1 回
日吉が丘区（ふれあいサンデー 9/8）	1 回
中島区（ふれあい交流会 9/15、どんどや 1/12）	2 回
中央区（敬老会 9/13）	1 回
真木区（敬老会 9/15）	1 回
杉下区（子ども避難訓練 10/27）	1 回
視察研修の受入やその他の地域支援	合計 12 回(+6)
御所原区（サロン 4/16）	1 回
片俣区（サロン 5/21、6/25、夏祭り 8/10）	3 回
上鶴区（お試しサロン 10/12）	1 回
護川小学校（わくわくふれあいフェスタ 11/24）	1 回
大林区（秋祭り 11/24）	1 回
桜丘区（4 者協議 11/29）	1 回
馬場区（4 者協議 1/24、2/6、2/14、3/5）	4 回
まちづくり懇談会等の開催（まちづくり推進室、福祉課協働）	合計 10 回(-14)
第1回（大津北・護川 5/21、大津東・大津南 5/22、大津・美咲野 5/23、室 5/24）	4 回
第2回（大津北・護川 8/20、大津東・大津南 8/21、大津・美咲野 8/26、室 8/27）	4 回
第3回（大津中 11/21、大津北中 11/22）	2 回
災害公営住宅入居者コミュニティ支援（住民福祉部協働）	合計 16 回(+16)
引水団地（4/27、5/27～28）	3 回
さんそん桜団地（5/27～28）	2 回
立石第2団地（6/29、10/19、12/14、1/20、2/15、2/22～23）	7 回
町民グラウンド団地（9/14、12/14、2/29、3/30）	4 回
第3期地域福祉活動計画・地域福祉計画策定（福祉課協働）	合計 4 回(+4)
策定委員会（7/31、9/26、12/24、2/27）	4 回

● 老人福祉関係

敬老会奨励補助金 …………… (17 地区(-1)、1,063 人(-154)) **寄付金**
 [内牧、大津東、岩坂、多々良、鍛冶、宮本、森、御所原、つつじ台、源場、中島、杉上、馬場、大林、
 仮宿、上中(原口)、美咲野]

72 歳以上一人暮らしへの鏡餅の配布 (民協と協働) ……12/22 (該当者数 : 563 人) (-31) **寄付金**

高齢者料理教室 (翔陽高校と協働) ……………1/20 (延べ参加者数 : 10 人) (+4) **共募**

もしもし電話サービス* (7 頁:再掲) …………… **共募**

● ひとり親(母子父子等)家庭福祉関係

一日ふれあい交流会の開催 (荒尾市) ……………4/28 (参加者数 : 18 家族、45 人) (+12) **共募**

ひとりだけの金婚式の開催 ……………10/20 (申請者 : 0 人) (-2) **寄付金**

菊池郡市親と子のつどい (合志市) ……………6/16 (参加者数 : 10 人) (-6) **寄付金**

● 防災関係

町地域防災会議及び水防協議会・国民保護協議会 ……………6/3

町総合防災訓練 ……………10/27

シェイクアウト訓練 ……………11/5

消防 (総合) 訓練 …………… (8/28、3/3) 2 回

大津地区県立学校 3 校合同防災型コミュニティ・スクール学校運営協議会 ……………2 回
 (支援学校 6/24、大津高校 2/19)

避難所開設 (福祉避難所) <<21 世帯:23 名>> ……………10 日間

・大雨による避難所開設<<1 世帯:1 名>> …………… (6/30~7/1) 2 日間

・大雨による避難所開設<<1 世帯:1 名>> …………… (7/3~4) 2 日間

・台風 8 号による避難所開設<<7 世帯:8 名>> …………… (8/5~6) 2 日間

・台風 10 号による避難所開設<<5 世帯:6 名>> …………… (8/14~15) 2 日間

・台風 17 号による避難所開設<<7 世帯:7 名>> …………… (9/22~23) 2 日間

● 心身障がい者福祉関係

ふれあい交流バスハイキングの開催 (熊本市) ……………12/8 (参加者数 : 8 家族、14 人) (-1) **共募**

● 福祉啓発関係

福祉まつりの開催 ……………10/20 (参加者数 : 4,500 人) (±0) **共募**

地域福祉推進懇談会Ⅱの開催 …………… 9/20 (参加者数 : 143 人) (-8) **共募**

ふれあいサロン推進事業 (町内におけるサロン活動) 12 地区 (+2) 【助成 9 ヶ所(+3)】 …… **共募**

[あけぼの区 : 11 回/年、北出口区 : 5 回/年、多々良区 : 9 回/年、錦野区 : 10 回/年
 下陣内区 : 15 回/年、新区 : 10 回/年、片俣区 : 10 回/年、御所原区 : 7 回/年、大林区 : 16 回/年
 源場区 : 3 回/年、つつじ台区 : 3 回/年、大津東区 : 12 回/年]

在宅介護者の集い ……………計 0 回 (中止) **寄付金**

実 施 日	3/5	新型コロナウイルス感染症	計 0 回(-1)
参加人数	中止	予防対策の為中止	合計 0 人(-17)

在宅介護者のサロン「野ばら」(奇数月の第 2 火曜日に実施) 計 6 回 (延べ参加者数 0 人) **寄付金**

実 施 日	5/14	7/9	9/10	11/12	1/14	3/10	計 6 回(±0)
参加人数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	中止	合計 0 人(-4)

● 表彰関係

民生児童委員退任記念品の贈呈 (一斉改選) ……………25 人(+25) **寄付金**

● 法外援護救済関係

行旅病人等旅費 …………… (該当者数 : 延べ 2 人) (-1) **寄付金**

● 地域福祉権利擁護事業関係（県社協委託事業）

日常的金銭管理等サービス利用援助 【別紙 2】

利用者	精神	知的	高齢者	その他	利用者数：22 件(-2) 担当職員：3 名(-1)、生活支援員数：5 名(+1)
件数	8 件	3 件	10 件	1 件	権利擁護事業延べ活動数：2,217 回(-140)
(新規)	(0 件)	(1 件)	(3 件)	(0 件)	
解約	2 件	0 件	4 件	0 件	

● 生活困窮者等自立相談支援事業関係（県社協委託事業）

生活困窮者等自立相談支援事業状況 【別紙 17】

年間相談件数 81 件(-7)（年間延べ活動回数 1,187 回）(+106)

● 青少年福祉関係

児童相談の開催：第 3 火曜日に心配ごと相談と併設（12 回）

主任児童委員との連携（随時）

● 福祉金庫の設置・運営

貸付件数：24 件(-1)、貸付金額：395,000 円(+8,000)

【内年度内償還完了件数：64 件(+21) 474,000 円(+199,000)

金額	10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円	20,001 円以上 50,000 円未満	50,000 円以上 100,000 円未満	100,000 円
件 数	3 件(+1)	10 件(+1)	10 件(-4)	0 件(±0)	1 件(+1)	0 件(±0)

※生活福祉資金相談員が生活福祉資金と併せて担当した。

福祉金庫運営委員会（欠損処分等） 5/29

● 視察等受入関係等

滋賀県大津市社協へ講師派遣（民児協福祉大会） 5/9～10

広島県呉市社協へ職員派遣（沖縄県北中城村 YORISOI 隊支援） 5/18～20

福岡県新宮町行政区嘱託職員視察受入支援（総務課） 7/10

民児協視察研修同行（鹿児島県） 7/17～18

福岡県朝倉市杷木ベース視察（九州豪雨災害関係） 8/11

沖縄県北中城村 YORISOI 隊来町（福祉まつり支援等） 10/20～21

沖縄県西原町社協事務局局長来町 11/8

社協活動全国会議参加（東京都） 11/19～20

社協・生活支援活動強化セミナー参加（東京都） 11/20

和歌山県社協主催「災ボラ中核職員研修会」講師派遣 12/6～8

東京都大田区議員来町 12/20

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業実施九州自治体ブロック研修会（鹿児島県鹿屋市） 1/30～31

● 寄附団体一覧

匿名 4/5	大津町老人クラブ連合会 10/31
新小屋さつき会 5/29	熊本北・合志市
大津歩こう会 7/24	こども劇場大津ブロック 11/28
JA 菊池大津とれたて市場 7/31	大津町協働の会 12/11
インテリア白川 10/21	東京エレクトロン九州㈱
大津町更生保護女性会 10/21	（マッキングギフト寄付） 12/13
北中城村 YORISOI 隊 10/23	大津町心配ごと相談員一同 12/27
大津町身体障がい者福祉会 10/24	大津町民生委員児童委員協議会 12/27
NPO こどもサポートみんなのおうち 10/28	室 3 丁目子ども会 1/8
菊池郡の未来を考える会	翔陽高校商業系列販売実習班 1/22
（チャリティーゴルフ募金寄付） 10/28	遺言による遺贈寄付（遺言執行者代理人より） 1/30
大津町ひとり親家庭福祉協議会 10/28	福岡県朝倉市社会福祉協議会 2/21

2. 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

● ボランティアセンターの活動関係

ボランティア協力校指定事業 指定校数 11 校(単独実施 1 校有) **共募**

〔 **高校 1 校** : 大津高校 (翔陽高校単独)、 **中学校 2 校** : 大津中・大津北中、 **支援学校 1 校** : 大津支援学校
小学校 7 校 : 大津小・室小・大津東小・大津南小・大津北小・護川小・美咲野小 〕

ボランティア養成講座などの開催 (2 講座(-1) : 参加者数 42 人(+3))

さわやかコールボランティア交流会 (1 回、参加者数 : 5 人) **共募**

傾聴ボランティア養成講座 (4 回、参加者数 : 37 人) **共募**

ボランティアの派遣受給調整

ボランティア相談 相談件数 : 26 件(±0)

ボランティア登録 登録件数 : 11 件(+3)

ボランティア援助 援助件数 : 20 件(-2)

ボランティア活動保険 加入者数 : 624 人(-14)

ボランティア行事用保険加入件数 85 件、3,538 人(-2,488)

送迎サービス補償加入件数 3 件、99 人(+37)

各種ボランティアサービスの実施

整髪サービス (利用者数 : 0 人) (±0)

音声訳サービス (利用者数 : 6 人、録音テープ 144 本) (-16)

点訳サービス (利用者数 : 4 人、点訳本 48 冊) (±0)

もしもし電話サービス*(利用者数 66 人)(-12) 1 年間延べ利用者数 1,266 人(+155) **共募**

利用曜日	登録利用者数	実施日数	年間延べ利用者数	ボランティア人数	
水曜日 (第 1.3)	19 人	18 日	340 人	1 人	延べ 18 人
水曜日 (第 2.4)	14 人	22 日	367 人	1 人	延べ 22 人
金曜日 (第 1.3)	16 人	18 日	268 人	2 人	延べ 18 人
金曜日 (第 2.4)	17 人	20 日	291 人	2 人	延べ 20 人
合 計	66 人	78 日	1,266 人	6 人	延べ 78 人

食の自立支援事業担当者会議 12/13(参加者 5 名)(-13)

収集ボランティアへの協力

古切手 (20 人、3 団体)

使用済みテレホンカード (0 人) (±0)

書き損じ葉書 (2 人) (+1)

未使用葉書 (4 人) (+4)

その他 (ベルマーク他) (5 人) (+5)

災害ボランティアセンター設置訓練 0 回(±0)

災害支援 (佐賀県大町町災害ボランティアセンター) 5 日間 9/18~9/22

災害支援 (長野県長野市災害ボランティアセンター : 支援 P 枠) 6 日間 11/25~11/30

菊池圏域ブロック社協災害相互応援協定会議 (大津町) 12/20,2/6 2 回

あんしん声掛け訓練への参加 (福祉まつりにて実施) 10/20

室小 3 年生児童町探索訪問受け入れ 6/13

ボランティア連絡協議会への協力

ボランティア連絡協議会 加盟 80 (団体 : 38 団体、個人 : 42 人) (+2)

事務局打合せ 16 回(+1)

役員会 8 回(-4)

ボランティア交流会兼フェスティバル(カフェ・ボランティア) 2/11 (参加者 60 人) (-140)

ボランティア連絡協議会便り発行 2 回(±0)

総会 1 回

※今年度末より活動休止

● 青少年福祉関係

社会福祉施設体験事業（ワークキャンプ）の開催 【参加者合計：162人】(+59) 共募

受け入れ協力施設総数 (37施設) (+8)

受け入れプログラム総数 (65プログラム) (-13)

プログラム総日数 (128日) (+38)

・ 合同説明会 7/19 1日 (参加者数：166人) (+52)

・ 知的障がい児(者)関係施設 【参加者総数：12人：延べ21人】(+13)

大津あゆみ園 7/30,31 2日通所 (参加者数：2人：延べ3人)

アンパ 7/30,8/8 2日通所 (参加者数：3人：延べ3人)

すまいる 8/5 1日通所 (参加者数：3人：延べ3人)

つくしの里 8/7,8,9 3日通所 (参加者数：4人：延べ12人)

・ 高齢者関係施設 【参加者総数：50人：延べ95人】(+36)

つつじ山荘 7/29,30 2日通所 (参加者数：6人：延べ11人)

デイサービスいわさか 8/7,8,9 3日通所 (参加者数：5人：延べ12人)

すみれ大津 8/16 1日通所 (参加者数：1人：延べ1人)

熊本セントラル病院 7/29,30,8/5 3日通所 (参加者数：8人：延べ11人)

ふるさとの奏 8/16,22,23 3日通所 (参加者数：7人：延べ10人)

光進園 8/8,9 2日通所 (参加者数：5人：延べ8人)

太寿園 8/21,22,23 3日通所 (参加者数：3人：延べ9人)

喜寿園 8/16,17 2日通所 (参加者数：3人：延べ6人)

グループホーム光喜園 8/5,7,8,9,14,16 6日通所 (参加者数：4人：延べ13人)

おおづ花風香 7/29,30 2日通所 (参加者数：4人：延べ6人)

グループホーム灰塚 8/5,8,19,20 4日通所 (参加者数：4人：延べ8人)

・ 児童福祉関係施設 【参加者総数：68人：延べ153人】(-21)

緑ヶ丘保育園 7/29,30,31,8/1 5日通所 (参加者数：3人：延べ15人)

白川保育園 7/31,8/1,2,7,8 5日通所 (参加者数：4人：延べ20人)

大津保育園 8/5,7 2日通所 (参加者数：3人：延べ5人)

大津保育園分園 8/5,8,9 3日通所 (参加者数：2人：延べ4人)

よろこび保育園 8/29,30,31 3日通所 (参加者数：7人：延べ14人)

第2よろこび保育園 8/5,7,8,9,13,14 6日通所 (参加者数：6人：延べ10人)

大津いちご保育園 8/29,30,8/5,7,20 6日通所 (参加者数：10人：延べ25人)

風の子保育園 7/29,30,8/1,9 4日通所 (参加者数：6人：延べ12人)

おひさま保育室 7/29,30,31,8/1,2,20,21,22 8日通所 (参加者数：7人：延べ16人)

ちゅうりっぷ 7/29,30,8/5,8,19,20 6日通所 (参加者数：6人：延べ12人)

杉水保育園 7/29,30,31,8/1 4日通所 (参加者数：2人：延べ8人)

一字保育園 7/30,31,8/1 3日通所 (参加者数：2人：延べ6人)

白川幼稚園 8/7,8 2日通所 (参加者数：4人：延べ8人)

・ NPO関係 【参加者総数：7人：延べ18人】(+3)

みんなのおうち保育室 7/29,30,31,8/5,7,19,20,21 8日通所 (参加者数：7人：延べ18人)

・ 社会福祉協議会 【参加者総数：15人：延べ19人】(+10)

ヘルパーステーション 7/29,30,8/9 3日通所 (参加者数：3人：延べ4人)

ミニデイサービス 8/7,22 2日通所 (参加者数：4人：延べ4人)

地域支え合いセンター 7/31,8/21 2日通所 (参加者数：5人：延べ5人)

デイサービス 7/29,30,8/5,7 4日通所 (参加者数：3人：延べ6人)

・ 学童保育 【参加者総数：10人：延べ24人】(+24)

グリーンキッズ 7/30,31,8/1,19,20 5日通所 (参加者数：6人：延べ14人)

緑のなかま 7/30,31,8/1 3日通所 (参加者数：2人：延べ6人)

つくしんぼ四つ葉学童さくらんぼクラブ 8/22 1日通所 (参加者数：1人：延べ1人)

一字学童 7/30,31,8/1 3日通所 (参加者数：1人：延べ3人)

● 福祉教育関係

福祉講話への派遣等 【合計：0回】(±0)

● 善意銀行の設置・運営

令和元年度 大津 善意銀行 状況

現金口座（払出0件）、物品口座（預託28件、払出28件） 【別紙3】

3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成

● 調査広報関係

介護保険認定者数調査（要介護 1152、要支援 293）……………1,445 人(+39)
 65 歳以上の介護認定率……………18.97%(+4.17)
 障害手帳保持者調査……………1,806 人(+2)

内 訳：身体障害者 1,220 人(-13)、知的 345 人(+7)、精神 241 人(+8)

※ 精神通院公費負担者 575 人(-24)は含まず。(平成 31 年 3 月末現在)

生活保護世帯調査……………173 世帯(+4)
 ひとり親(母子父子)世帯調査（母子 255、父子 22、その他 9）……………286 世帯(+1)
 一人暮らし高齢者調査（男性 207(-5)、女性 568(+7)）……………775 世帯(+2)
 高齢者夫婦世帯調査……………898 世帯(+3)
 地区別高齢化率調査

町内高齢化率……………22.06%(+0.40)

最高地区「米山区」……………93.33%

最低地区「美咲野 4 丁目区」……………0.88%

町平均以上の地区数……………72.0%（49/68 行政区）(±0)

町平均以下の地区数……………28.0%（19/68 行政区）(±0)

15 歳未満人口調査……………6,033 人(+73)

15 歳未満人口比率調査……………17.20%(-0.21)

社協広報「ふれあいネットワーク通信」の発行……………（毎月：全戸配布 13,500 部）**共募**

【毎月 15 日発行の町生涯学習情報紙に同時掲載】(13,500 部×12 月=162,000 部)(±0)

ホームページの運営……………アドレス【<http://o-shakyo.info/>】

【年間カウント数 7,161 件(-2,162)】

社協ブログ（日記）の運営……………アドレス【<http://blog.goo.ne.jp/o-shakyo>】

【年間カウント数 224,671 件(+65,141)、年間掲載記事数 269 件(-65)】

ツイッター（ミニ日記）の運営……………アドレス【<https://twitter.com/oozushakyo>】

【ツイート 9,803 件(+646)、フォロー 416 件(+26)、フォロワー 1,202 件(+58)】

フェイスブック（情報掲示板）の運営……………アドレス【大津町社会福祉協議会】

【いいね！ 973 件(+62)】

● 各種福祉団体への助成 6 団体（±0）

身体障害者福祉会	老人クラブ連合会	ひとり親家庭福祉協議会
更生保護女性会	民生児童委員協議会	ボランティア連絡協議会

4. 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

● 役員会等

理事会 6/12、6/27、1/28、3/19 評議員会 6/27、2/7、3/30(書面による表決)

定期監査 6/1 資産変更登記 6/27 代表者変更登記 6/28 県指導監査 1/30(隔年実施)

評議員選任・解任委員会 6/27、1/28

地域福祉権利擁護事業実地指導 12/20 介護保険事業等実地指導 10/31

● 実習受入関係

受入期日	日数	受入施設（学校）人	介護従事者 実務者研修	介護従事者 初任者研修	介護等 体験	社会福祉 援助技術 現場実習	教職免許 介護等体験	その他 インターンシップ デュアルシステム
10/28～11/27	23 日	久留米大学				1 人		
10/14～11/14	23 日	熊本 YMC A 学院				1 人		
2/3～3/6	23 日	九州看護福祉大学				2 人		
8/8～9/16	23 日	熊本学園大学				2 人		
	92 日	4 団体:6 人受け入れ		0	0	6	0	0
前年度比	+12	-2 団体:-1 人		-1	±0	+2	-1	-1

● 職員研修・会議等

年間活動 報告表……………**【別紙 4】**

● 会議及び職場内研修等関係

会議名	開催日	開催時間
正規職員会議	毎月10日 前後	18:00～ 2時間
地域福祉係ミーティング	随時	1時間程度
総務係ミーティング	随時	1時間程度
ヘルパーミーティング	毎月15日 前後	11:20～ 1時間
デイサービスミーティング	毎月第2 木曜日	16:30～ 1時間
ミニデイミーティング	毎月第3 水曜日	14:00～ 1時間
権利擁護事業ミーティング	毎月最終 月曜日	12:30～ 1時間
食の自立支援ミーティング	毎月最終 水曜日	16:00～ 30分間
地域支え合いセンターミーティング	毎月第1 月曜日	9:00～ 2時間
生活困窮者等自立支援事業支援調整会議	毎月1回	9:00～ 1時間
地域支え合いセンター運営会議	毎月1回	13:30～ 1時間
ケアマネ倶楽部	毎月第2 火曜日	12:30～ 1時間

職員研修会並びに健康診断関係(全体・介護職員等) ……3回(-3)

実施日	内容	講師等
9/27	交通安全講習	交通安全協会 三池氏
12/12	職場におけるハラスメントについて	産業医 樽美整形外科医院 医院長 樽美光一氏
2/19	高齢者の虐待の現状と対応等について	地域包括支援センター 高橋由紀美氏
毎月	訪問介護従事者	ミーティング時に研修を実施
毎月	通所介護従事者	ミーティング時に研修を実施
毎月	障がい者居宅介護等従事者	ミーティング時に研修を実施
9/4	職員健康診断	熊本県総合保健センター来所

● その他

介護支援専門員実務研修受講試験（熊本市） ……10/13

● 各種団体事業への協力

つつじ祭り「戦没者追悼式」の遺族の方々との共催（つつじ祭り実行委員会主催） ……4/20

からいもフェスティバルへの参加（からいもフェスティバル実行委員会主催） ……11/10

各種団体総会等への参加（大津町） ……随時

【更生保護女性の会 4/24、身体障がい者福祉会 5/22、老人クラブ連合会 5/13、ボランティア連絡協議会 6/1、ひとり親家庭福祉協議会 6/1】

民生委員児童委員協議会定例会（民生委員児童委員協議会主催） ……随時

地域ケア会議定例会（地域包括支援センター主催） ……随時

大津町地域ケア会議（地域包括支援センター主催） ……随時

大津町在宅医療・介護連携会議（地域包括支援センター主催） ……随時

老人クラブ連合会会長会、女性部会、シルバーヘルパー定例会（老人クラブ連合会主催） ……随時

青少年育成町民会議や社会を明るくする運動等への協力（更生保護女性会等主催） ……随時

NPO 法人（特定非営利活動法人）の支援（みんなのおうち、あほり、すまいる、ココリス等） ……随時

介護保険事業計画等策定委員会への参画 ……随時

大津町男女共同参画審議会への参画 ……随時

地域包括支援センター地域密着型サービス運営委員会への参画 ……随時

障がい者福祉計画策定委員会への参画 ……随時

地域福祉計画並びに地域福祉活動計画策定委員会への参画 ……随時

菊池圏域地域自立支援協議会並びにサービス部会への参画 ……随時

大津町スポーツ推進審議会への参画 ……随時

大津町新庁舎建設検討委員会への参画 ……随時

● 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

生活福祉資金相談員活動状況 ……【別紙 5】

生活福祉資金相談員を配置（熊本地震対策事業） ……【相談件数：285件】(-108)

申込件数：2件(+2)	貸付件数：2件(+2)	貸付合計額 1,340,600 円	福祉費 2 件（障がい者用自家用車購入費用、冷房設備購入費用）
-------------	-------------	----------------------	---------------------------------

● 各種募金活動への協力（日赤、共募）

令和元年度 日本赤十字社熊本県支部大津町分区 ……【別紙 6】

目標 4,188,000 円(実績 4,296,900 円) 102.60%(昨年度比：目標+97,000 円、実績+187,300 円)

協力率 55%、[協力世帯数：7,920 世帯、世帯数：14,412 世帯]（令和元年 5 月末現在）

令和元年度 熊本県共同募金会大津町分会 ……【別紙 7】

目標 5,531,000 円(実績 5,921,313 円)107.06%(昨年度比：目標-392,000 円、実績+14,672 円)

協力率 55%、[協力世帯数：7,991 世帯、世帯数：14,628 世帯]（令和元年 12 月末現在）

在宅福祉事業状況

- 介護用品等の無料貸出 貸出総件数：118 件(+37)
 車椅子 30 件(30 台)、ポータブルトイレ 5 件(5 台)、介護用ベッド 2 件(2 台)、マット 1 件(1 枚)
 歩行器 1 件(1 台)、身長計 1 件(1 台)シャワー椅子 4 件(4 脚)、手摺 1 件(1 台)、杖 1 件(1 本)
 レクリエーション用具等
 プロジェクターセット 7 件(7 セット)、日赤大鍋 10 件(18 セット)、ルーレットゴルフ 5 件(5 セット)
 輪投げ 20 件(20 台)、テント 5 件(14 張)、室内グラウンドゴルフ 4 件(4 セット)、座卓 1 件(40 台)
 ボーリングゲーム 9 件(9 セット)、ペタンク(ボッチャ)3 件(3 セット)、書籍 2 件(2 冊)、DVD1 件(1 本)
 募金箱 1 件(1 個)、台車 2 件(2 台)、法被 1 件(13 着)、餅つき機等 1 件(1 台)

町受託事業関係

- 令和元年度 老人福祉センター利用状況集計表 【別紙 8】
 年間延べ利用者数 23,256 人(-2,452) (開館日数 359 日(±0))
 新型コロナウイルス感染症予防対策による利用制限 (2/14~3/31)
 *避難所開設 10 日間(6/30~7/1、7/3~4、8/5~6、8/14~15、9/22~23) (避難者延べ 21 世帯:23 名)
- 令和元年度 食の自立支援事業状況 【別紙 9】
 年間延べ利用者数 7,270 人(+498) (実施日数 308 日 (-1))
- 令和元年度 高齢者ホームサポート事業状況 【別紙 10】
 年間延べ利用回数 414 回(-205) (派遣時間 414 時間(-205))
- 令和元年度 生きがい活動通所支援事業状況 【別紙 11-1】
 1 介護予防はつらつ元気づくり事業状況 【別紙 11-2】
 年間延べ利用者数 4,823 人(+63) (実施日数 274 日 (-33))
 2 介護予防型ミニデイふれあい事業状況 【別紙 11-2】
 年間延べ利用者数 2,253 人(-298) (実施日数 258 日 (-21) : 25 地区(+2))
 ※新型コロナウイルス感染症予防対策として町の指導により休止期間が設けられた。
- 令和元年度 心配ごと相談事業状況 【別紙 12】
 相談員 10 名：年間延べ相談件数 112 件(+7) (実施日数 62 日(±0))

介護保険事業等状況関係

- 令和元年度 居宅介護支援事業等状況 【別紙 13】
 月平均利用人数 63 人(-6) (介護1:27人、介護2:22人、介護3:11人、介護4:2人、介護5:2人)
 介護予防等：月平均利用人数 10 人(+1) (要支援1:2人、要支援2:5人、事業対象者:3人)
 介護保険等収入：9,043,440 円(-562,550 円)
- 令和元年度 訪問介護事業等状況 【別紙 14】
 合 計：年間延べ利用人数 4,419 人(-295) (派遣時間 4,314 時間 32 分)
 内 訳：訪問介護：年間延べ利用人数 3,527 人(-487) (派遣時間 3,422 時間 32 分)
 総合事業：年間延べ利用人数 892 人(+19) (派遣時間 892 時間 00 分)
 介護保険等収入：13,502,840 円(-707,201 円)
- 令和元年度 通所介護事業等状況 【別紙 15】
 合 計：年間延べ利用人数 6,360 人(-477)
 内 訳：通所介護：年間延べ利用人数 5,332 人(-560)
 総合事業：年間延べ利用人数 1,028 人(+83)
 介護保険等収入：44,213,850 円(-3,552,390 円)

障害者居宅介護事業状況関係

- 令和元年度 居宅介護事業状況 【別紙 16】
 合 計：年間延べ利用回数 2,199 回(-604) (派遣時間 2,826 時間 15 分) (-401)
 内 訳：居宅介護：年間延べ利用回数 1,861 回(-609) (派遣時間 2,056 時間 30 分)
 同行援護：年間延べ利用回数 196 回(+12) (派遣時間 356 時間 30 分)
 移動支援：年間延べ利用回数 142 回(-3) (派遣時間 413 時間 30 分)
 行動援護：休止中
 居宅介護費等収入：7,794,870 円(-1,554,560 円)
- 社会福祉法人等による利用者負担額軽減(障害者居宅介護事業) 0 名(±0)

平成 28 年熊本地震対応関係【継続】

● 令和元年度 大津町地域支え合いセンター事業状況 【別紙 18】

● 職員の配置

職 名	人数（定数）	備考等
主任生活支援員	1 名（ 1 名）	正規職員：主事（社会福祉士）
生活支援員	2 名（ 5 名）	嘱託職員（年度内退職による減）
事務補助	1 名（ 1 名）	嘱託職員

● 調査対象世帯数 4,862 世帯（±0）

（仮設 88 世帯、みなし仮設 252 世帯、在宅 4,522 世帯）

● 支援対象世帯数 454 世帯（+14）

（仮設 77 世帯、みなし仮設 201 世帯、在宅 178 世帯）

● 調査対象者数 770 人（-43）

（仮設 156 人、みなし仮設 425 人、在宅 189 人）

● 支援対象者数 164 人（-48）

（仮設 115 人、みなし仮設 47 人、在宅 2 人）

● 活動延べ回数 3,783 回（-2,724）

（仮設 1,640 回、みなし仮設 1,761 回、在宅 382 回）

● 支援対象世帯数 44 世帯（-242）（令和 2 年 3 月 31 日現在）

（仮設 18 世帯、みなし仮設 24 世帯、在宅 2 世帯）

（独居 15 世帯、高齢者のみ 7 世帯、介護が必要 5 世帯、乳幼児 4 世帯、ひとり親 5 世帯、他 8 世帯）

● 調査対象者数 81 人（-400）（令和 2 年 3 月 31 日現在）

（仮設 32 人、みなし仮設 47 人、在宅 2 人）

● 災害公営住宅への支援関係

第 5 回引水・さんそん桜団地災害公営住宅内覧会 4/27

引水団地災害公営住宅落成式（12 戸） 5/25

さんそん桜団地災害公営住宅落成式（10 戸） 5/25

引水・さんそん桜団地災害公営住宅困りごと相談コーナー設置 5/25～26

第 1 回町民グラウンド災害公営住宅入居説明会 6/16

第 2 回立石第 2 団地災害公営住宅入居説明会 6/29

第 6 回引水団地災害公営住宅入居説明会 7/2

第 6 回さんそん桜団地災害公営住宅入居説明会 7/8

第 2 回町民グラウンド災害公営住宅入居説明会 9/14

第 3 回立石第 2 団地災害公営住宅入居説明会 10/19

第 4 回立石第 2 団地災害公営住宅内覧会・入居説明会 12/14

第 3 回町民グラウンド災害公営住宅入居説明会 12/14

立石第 2 団地役員決め協議 1/20

立石第 2 団地災害公営住宅落成式（25 戸） 2/15

立石第 2 団地災害公営住宅困りごと相談コーナー設置 2/21～22

第 4 回町民グラウンド団地災害公営住宅内覧会・入居説明会 2/29

町民グラウンド団地災害公営住宅落成鍵渡し式（27 戸） 3/20

（新型コロナウイルス感染症予防対策にて落成式中止）

● 視察・ボランティア等受入関係

熊本応援フラメンコキャラバン隊受入 4/13

カセスル熊本映画観賞会受入 8/4

沖縄県北中城村 Y O R I S O I 隊受入 10/21

おおづケアマネ倶楽部での事業説明 6/11

東洋大学さんそん桜団地視察受入 6/11

福岡県朝倉市社会福祉協議会地域支え合いセンター視察研修受入 2/21

NHK 熊本放送（ラジオ）取材受入 3/5